講義科目名称： 環境病態学特論　　授業コード：N121150

英文科目名称： Advanced Environmental Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２	選択
担当教員			
濵田　薫			
添付ファイル			

全担当教員	濵田　薫		
概要	環境要因は多くの疾病において、その発症から病態、治療反応性、さらに予後に影響をあたえる。 代表的な疾患の病態における環境要因の関与を明らかにし、疾病についての理解を深める。		
目標	1)環境要因の視点から各領域の代表的疾患の発症機序を理解する 2)疾患についての理解を深めることから看護学への応用を図る 3)各疾患の一次予防の可能性をさぐる		
評価方法	受講態度20%、プレゼンテーション50%（妥当性・適切性・資料作成・発表の内容と方法および表現力）、レポート30%（論理性・一貫性・適切性）で総合的に評価する。		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	1 環境と病態	講義	濵田
	2 大気環境	講義	濵田
	3 水質・土壌	講義	濵田
	4 食物連鎖・生物濃縮と疾病	講義	濵田
	5 放射線と疾病	講義	濵田
	6 金属と疾病	講義	濵田
	7 環境とアレルギー	講義	濵田
	8 シックハウス	講義	濵田
	9 石綿肺と環境曝露	講義	濵田
	10 内因性攪乱物質	講義	濵田
	11 微生物叢と病態	講義	濵田
	12 寄生虫	講義	濵田
	13 身近な大気汚染：タバコ	講義	濵田
	14 環境問題と活動	講義	濵田
	15 まとめ	講義	濵田
授業外学修（事前			

学修・事後学修)	
テキスト	講義開始時に紹介予定
参考書	講義開始時に紹介予定
学生へのメッセージ等	

講義科目名称： 環境病態学演習　　授業コード：N121160

英文科目名称： Environmental Medicine Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	１年	４	選択
担当教員			
濵田　薫			
添付ファイル			

全担当教員	濵田　薫		
概要	種々の病態における環境要因の関与について、疫学的あるいは実験モデルを用いた研究論文を用いて、その結果内容および研究手法について理解する		
目標	1)英文の学術論文を読むことに慣れる 2)学術論文から研究方法の構築を理解する 3)英語論文を作成する		
評価方法	受講態度20%、プレゼンテーション50%（妥当性・適切性・資料作成・発表の内容と方法および表現力）、レポート 30%（論理性・一貫性・適切性）で総合的に評価する。		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	1 英語の学術論文の構成	講義・演習	濵田
	2 論文を読む	演習	濵田
	3 要約をまとめる	演習	濵田
	4 研究論文の紹介 目的に合わせたpresentation	演習	濵田
	5 抄読会と論文のreview	演習	濵田
	6 論文を書くために	演習	濵田
	7 研究テーマとReview	演習	濵田
	8 研究テーマとReview	演習	濵田
	9 研究テーマとReview	演習	濵田
	10~ 演習	演習	濵田
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	講義開始時に紹介予定		
参考書	講義開始時に紹介予定		
学生へのメッセージ等			

講義科目名称： 環境病態学特別研究　　授業コード：N121170

英文科目名称： Master’s Thesis of Environmental Medicine

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	８	選択
担当教員			
濱田　薫			
添付ファイル			

全担当教員	濱田　薫／吉川　正英		
概要	環境と病態の関連に関する研究テーマを決定し、研究方法を吟味し、結果とその適切な考察をまとめ、 医学（科学)雑誌へ投稿する。		
目標	研究について発案の段階から 結果・考察の公表として論文投稿するまでを実際に体験する。 研究成果は内容次第であり夜間、休日に施行せざるを得ないこともある。 研究の成果ならびに進捗状況によっては、資料の解析による文献研究とする		
評価方法	研究への取り組み姿勢、研究計画書の作成、中間報告、修士論文作成（100%）までの進捗状況、論文提出とその完成度にて評価する。		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	1 研究テーマを決める	講義・演習	濵田 吉川
	2~4 研究実施		濵田 吉川
	5 進捗状況の報告会		濵田 吉川
	6~ 以下、同様。3週毎に報告会。		濵田 吉川
授業外学修（事前学修・事後学修）			
テキスト	講義開始時に紹介予定		
参考書	講義開始時に紹介予定		
学生へのメッセージ等	実験の準備、実施、結果の解析などどの段階も自ら積極的にすることが重要。サイエンスを実感できます。		